

ReaSnow S1 ユーザーマニュアル

V1.5

2022年9月



本マニュアルは ReaSnow の知的財産です。出版する際は原本の状態のまま行われなければなりません。ReaSnow の許可無く本書の一部を使用したり、あるいは変更を加えた部分を再版したりすることは禁じられています。

目次

第 1 章 : ReaSnow S1 について

- 1.1 ReaSnow S1 の主な機能
- 1.2 技術仕様
- 1.3 図

第 2 章 : クイックガイド

- 2.1 ファームウェアのアップグレード
- 2.2 マウス設定
- 2.3 コンソールおよびゲームの設定
- 2.4 配線
- 2.5 ReaSnow Manager アプリ

第 3 章 : ReaSnow Manager アプリ

- 3.1 ホーム
- 3.2 マネージャー
- 3.3 設定
- 3.4 コンフィグの追加
- 3.5 コンフィグの編集
- 3.7 グローバル設定

第 4 章 : マクロ

- 4.1 マクロマネージャー
- 4.2 マクロ用語
- 4.3 例および解説

第 5 章 : ハンドルコントローラー

- 5.1 はじめに
- 5.2 使用方法
- 5.3 注記

第 6 章 : フライトスティック、アーケードスティック、その他のコントローラー

- 6.1 配線
- 6.2 コンフィグの追加

第 7 章 : Bluetooth コントローラー

- 7.1 配線
- 7.2 コンフィグの追加
- 7.3 ペアリング

第 8 章 : 復元

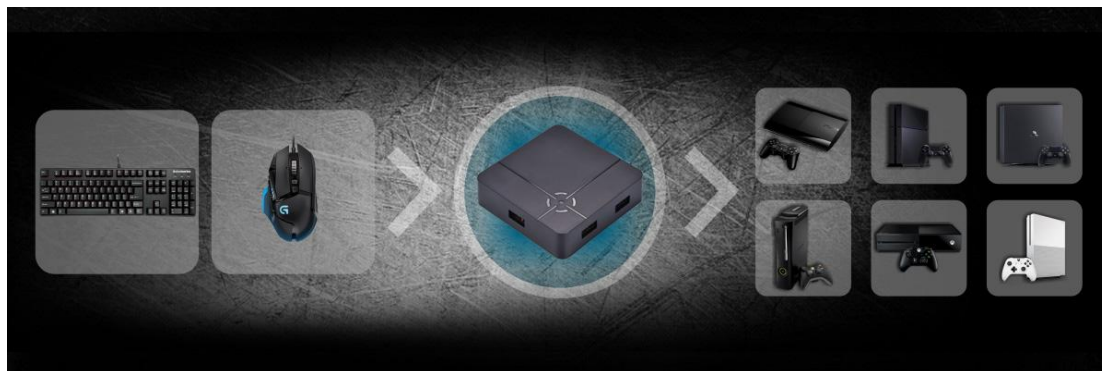
- 8.1 工場出荷時設定の復元

第 1 章：ReaSnow S1 について



ReaSnow S1 は ReaSnow が開発した高性能ゲームコンバーターです。

FPS ゲーム向けのプロ仕様のマウス最適化機能が搭載されています。
好きなマウスやキーボードで簡単に正確かつ安定したエイムを実現できます。



また、PS4 Pro、PS4 Slim、PS4、PS3、Xbox One X、Xbox One S、Xbox One、Xbox 360、Nintendo Switch など、市場に出ているほぼ全てのコンソールに対応したオールラウンダーなコンバーターです。

キーボード、マウス、ハンドルコントローラー、フライトスティック、アーケードスティック、およびサードパーティー・ゲームパッド、全てに対応しています。

強力な機能だけでなく、直感的かつ簡単に使用できるよう設計されています。
ReaSnow S1 があれば、全く新しいゲームの楽しみ方を見つけることができますでしょう。

1.1 ReaSnow S1 の主な機能

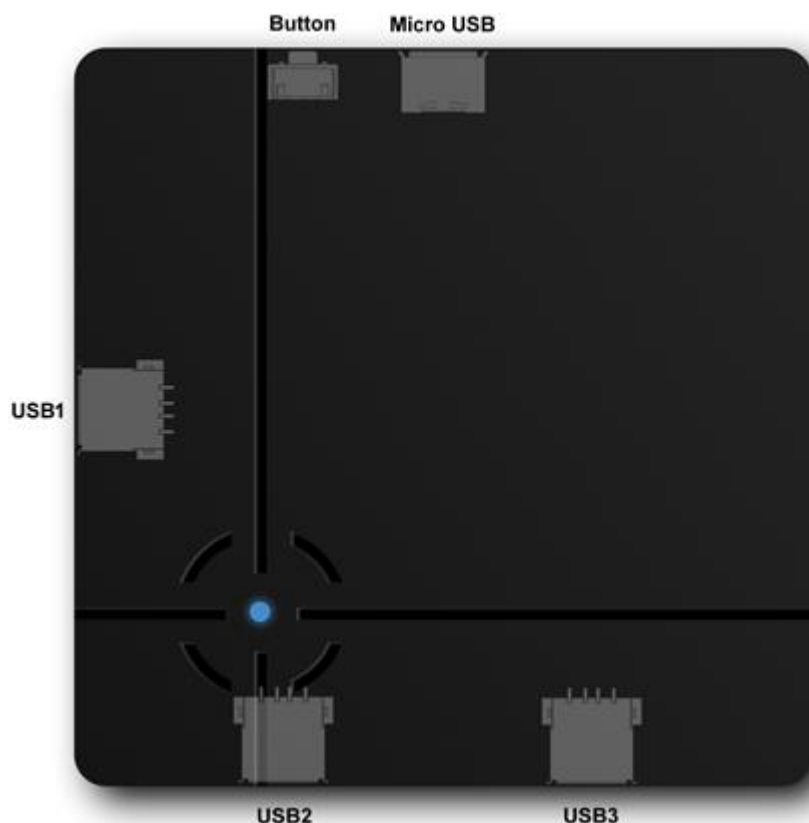
- FPS ゲーム向けのプロ仕様のマウス最適化機能。インテリジェント・エンジン 3.0（正確かつ安定したエイム、1:1 のゲーム動作、マウスカーブエディタ）
- USB 応答速度 1 ミリ秒の最速 USB 通信で遅延無し
- 上級者向けハンドルコントローラー対応（フォースフィードバック対応）
- フライトスティック対応（独立型スロットルに対応）
- オンザフライでのマクロ編集
- 独立した軸リマッピング
- あらゆるコンソールに対応：PS4 Pro、PS4 Slim、PS4、PS3、Xbox One X、Xbox One S、Xbox One、Xbox 360、Nintendo Switch

- 優れた互換性：キーボード、マウス、ハンドルコントローラー、フライトスティック、アーケードスティック、サードパーティー・ゲームパッド等
- ReaSnow Manager アプリ（Android および iOS 版）
- 多言語対応
- オンラインでのゲームプリセット同期

1.2 技術仕様

寸法	76 × 76 × 20mm	
正味重量	65g	
プラットフォーム	PlayStation、Xbox、Nintendo Switch	
設定	16 種類の設定（ユーザー定義）	
色	ブラック	
ポート	USB ポート× 3	コントローラー、キーボード、およびマウス用
	マイクロ USB ポート× 1	ゲームコンソール／PC 接続用
ボタン		ファームウェアのアップグレード／Bluetooth
ピープ音	内蔵ピープ音	音でのお知らせ
温度	-10～50°C (14～122°F)	
湿度	90%未満	

1.3 図



マイクロ USB：

ゲームコンソールまたは PC への接続。

USB1：

ゲームコンソールに同梱されている純正の有線コントローラーへの接続。

ワイヤレスコントローラーの場合は、適切な USB ケーブルを使ってこの USB ポートに接続します。

例外として、Xbox 360 は有線式の Xbox 360 コントローラーが必要です。

USB2/3 :

マウス、キーボード、ハンドルコントローラー、フライトスティック、サードパーティー・ゲームパッド、またはその他の周辺機器への接続。

ボタン :

ファームウェアのアップグレード。

LED インジケーター :

ステータスを知らせる。

内部ビープ音 :

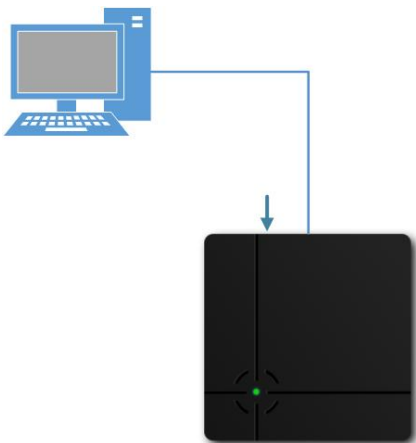
ステータスを知らせる。

第 2 章 : クイックガイド

最新のツール、ソフトウェア、およびマニュアルは www.reasnow.com/start-here でご確認ください。

2.1 ファームウェアのアップグレード

ファームウェアは、ゲームに加えられた変更への対応、新しい周辺機器への対応、パッチや改善の提供等のために頻繁にアップデートされます。そのため ReaSnow S1 のファームウェアは、購入したばかりだとしてもアップグレードしてください。



ステップ 1 :

ボタンを押したまま ReaSnow S1 を PC に接続します。

LED ランプが緑に点灯するまでボタンを放します。

ステップ 2 :

PC で「フラッシュツール」を実行し、「ファームウェアをアップグレード」をクリックします。

2.2 マウス設定

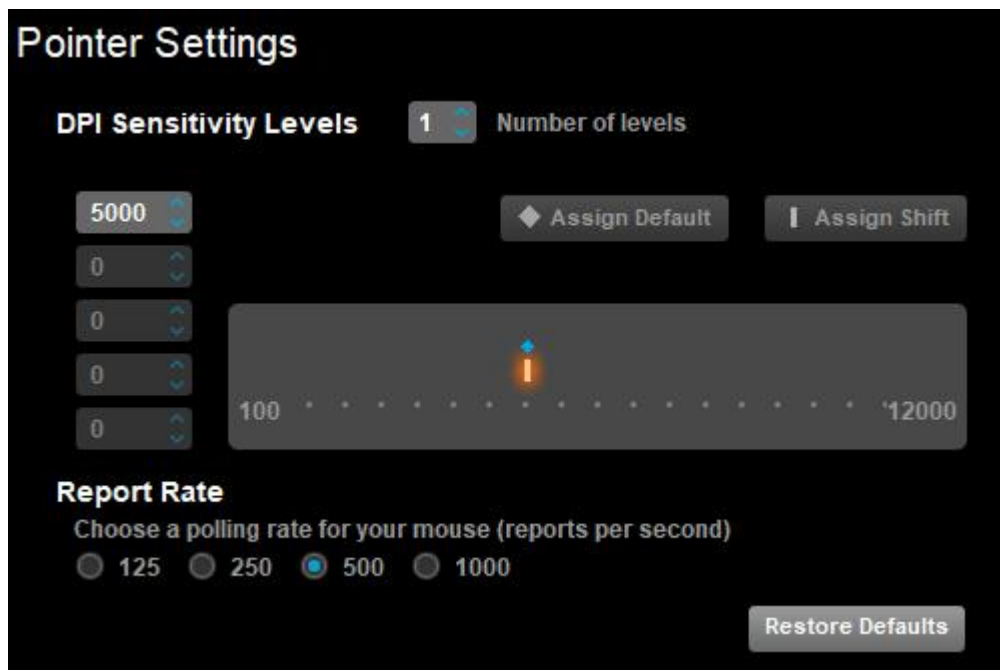
マウスメーカーのソフトウェアを使い、適切なマウス DPI と USB 応答速度を設定してください。

マウスによっては、マウスのボタンを使って DPI と応答速度を設定できるものがあります。

4000～16000 DPI および 250～1000 ヘルツが推奨されます。

DPI が高いほど方向転換が速くなり、USB 応答速度が高いほど遅延が少なくなります。マウスの設定値を最大にすると信号が不安定になることがあります。

そのため、最初は 5000DPI および応答速度 500 ヘルツ程度から始めることをお勧めします。



2.3 コンソールおよびゲームの設定

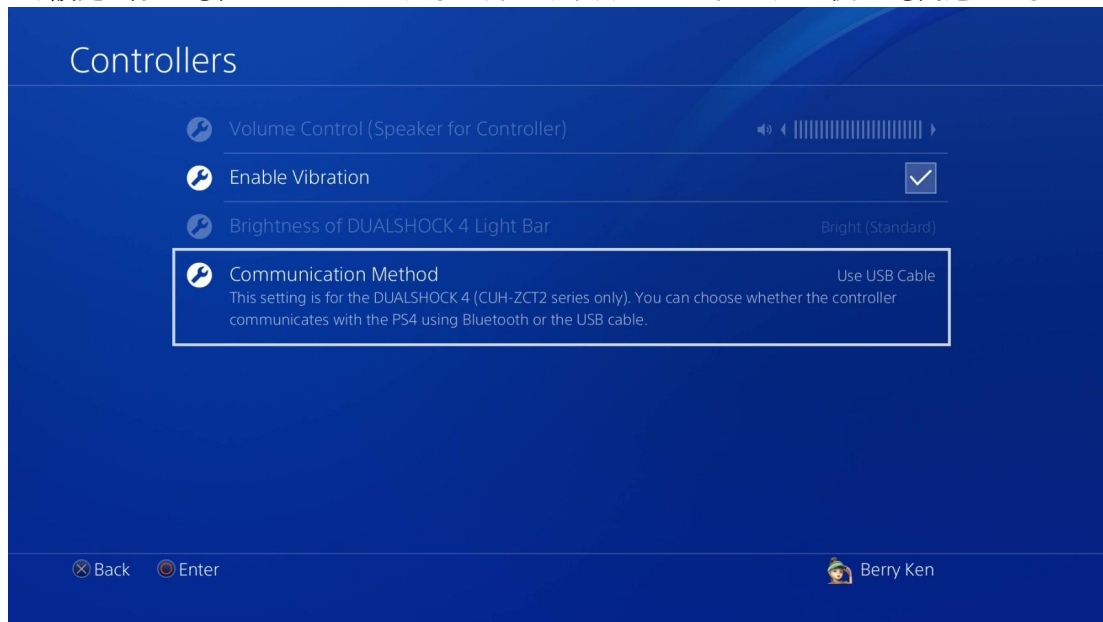
コンソール側の準備：

PS4 の場合：

コントローラーの通信方法を以下の通りに変更してください。

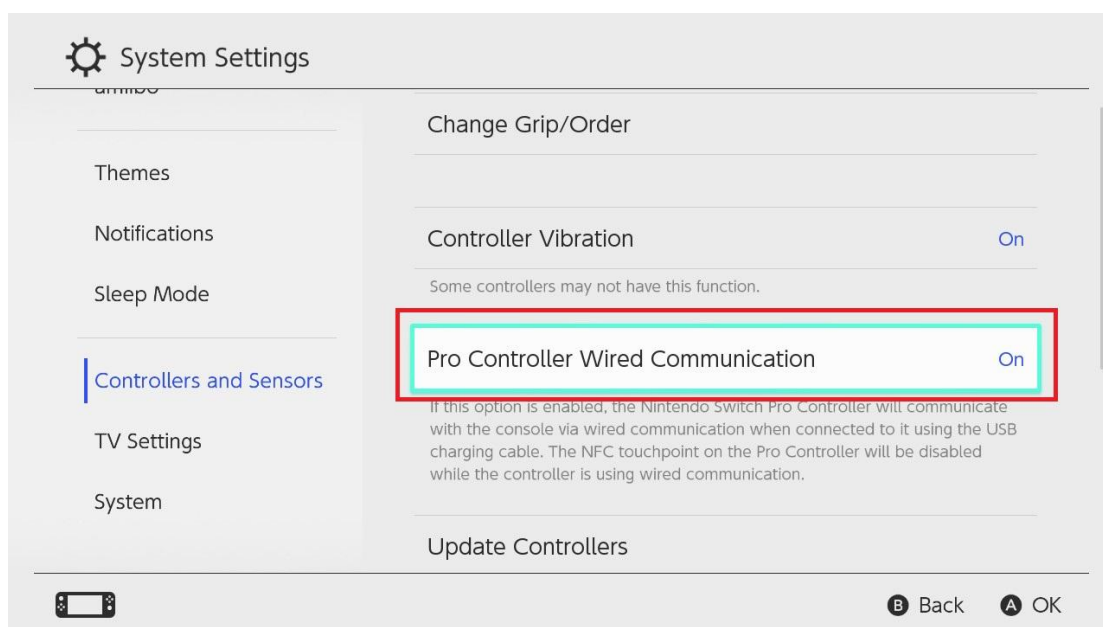
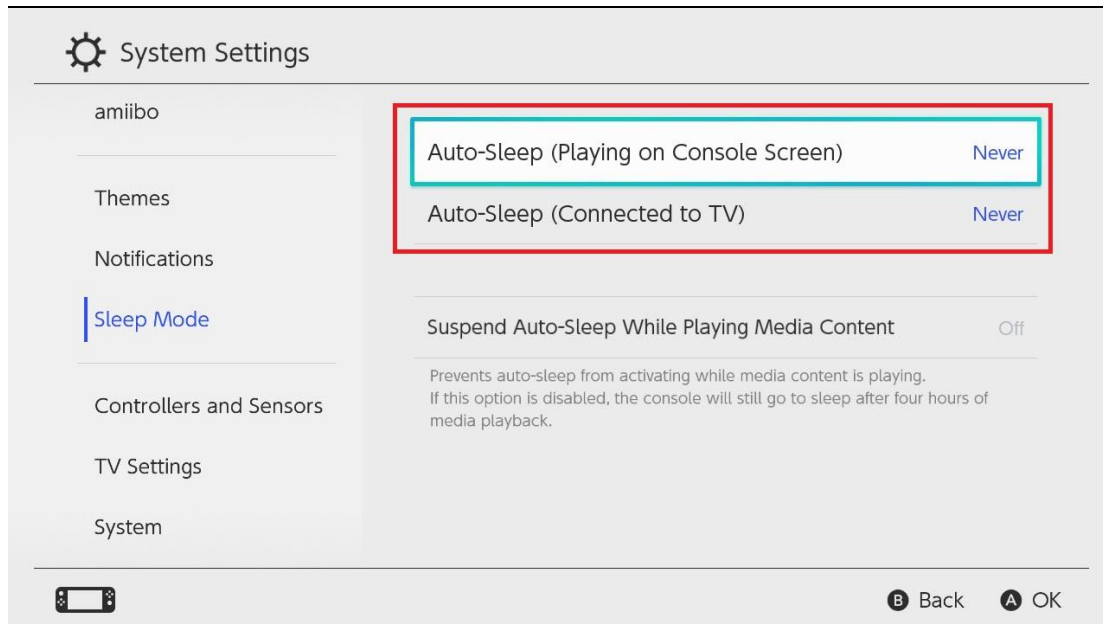
設定 → 周辺機器 → コントローラー → 通信方法 → 「USB ケーブルを使う」

この設定を行っても、ReaSnow S1 無しであればワイヤレスでコントローラーを使っても問題は生じません。



Switch の場合：

1. Switch のシステムバージョンを最新のものにアップグレードします
2. 自動スリープを「しない」にします
3. Pro コントローラーの有線通信を ON にします



Xbox シリーズは特別な設定は必要ありません。

ゲーム側の準備：

マウスの動作はゲームパッドの右スティックに割り当てられます。そのため、ゲームのポテンシャルをフルに引き出せるよう、当社は右スティックの感度の最大化を目指しています。

マウスのコントロールに影響するゲーム側の設定項目は多岐にわたります。おすすめの設定例を以下に示します：

感度 = 最大

「ルック感度」、「エイム感度」、「感度」等、様々な呼び方があります。感度は全て最大にすることをお勧めします。

加速 = 最大（別段の指定が無い限り）

反応曲線 = デフォルト

デッドゾーン = デフォルト

当社のエンジンは非常に優れているため、デフォルトにしておいてください。

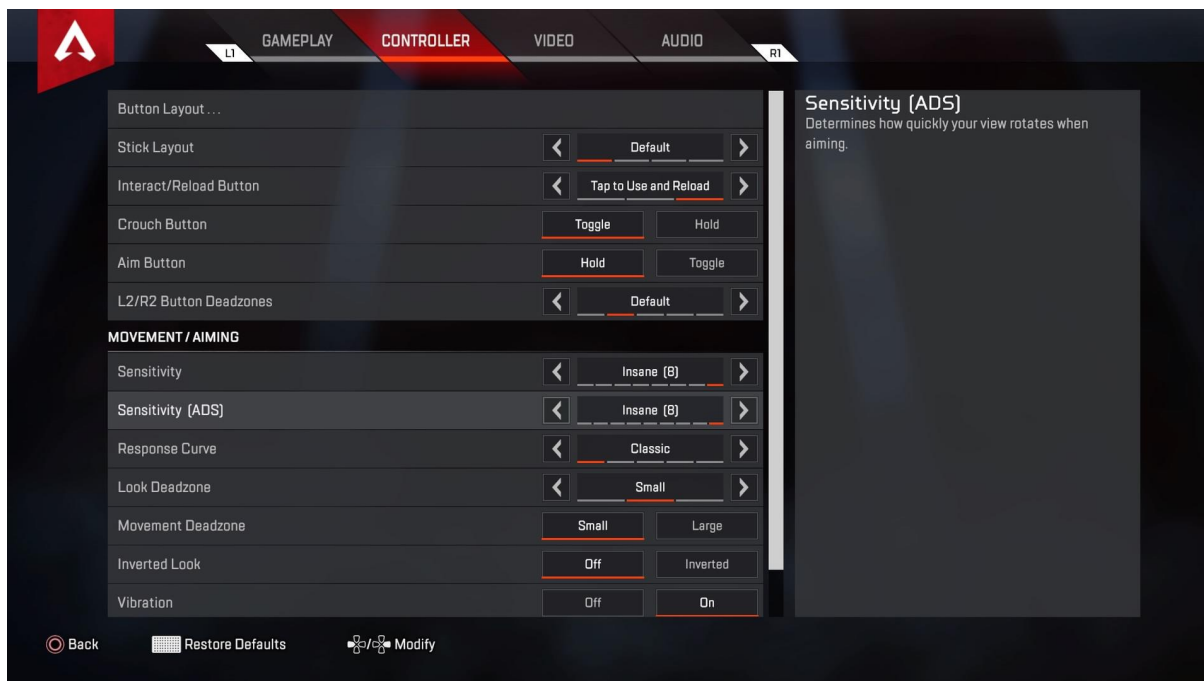
ボタン配置 = デフォルト

混乱を防ぐため、**ボタン配置**はデフォルトにしておくことをお勧めします。

この他のおすすめ設定は当社のアプリでご確認いただけます。

以下の動画一覧からもご確認いただけます：

https://www.youtube.com/playlist?list=PL_W7SvvWDzBOgxdSxBsr11E7rg7czSpYV



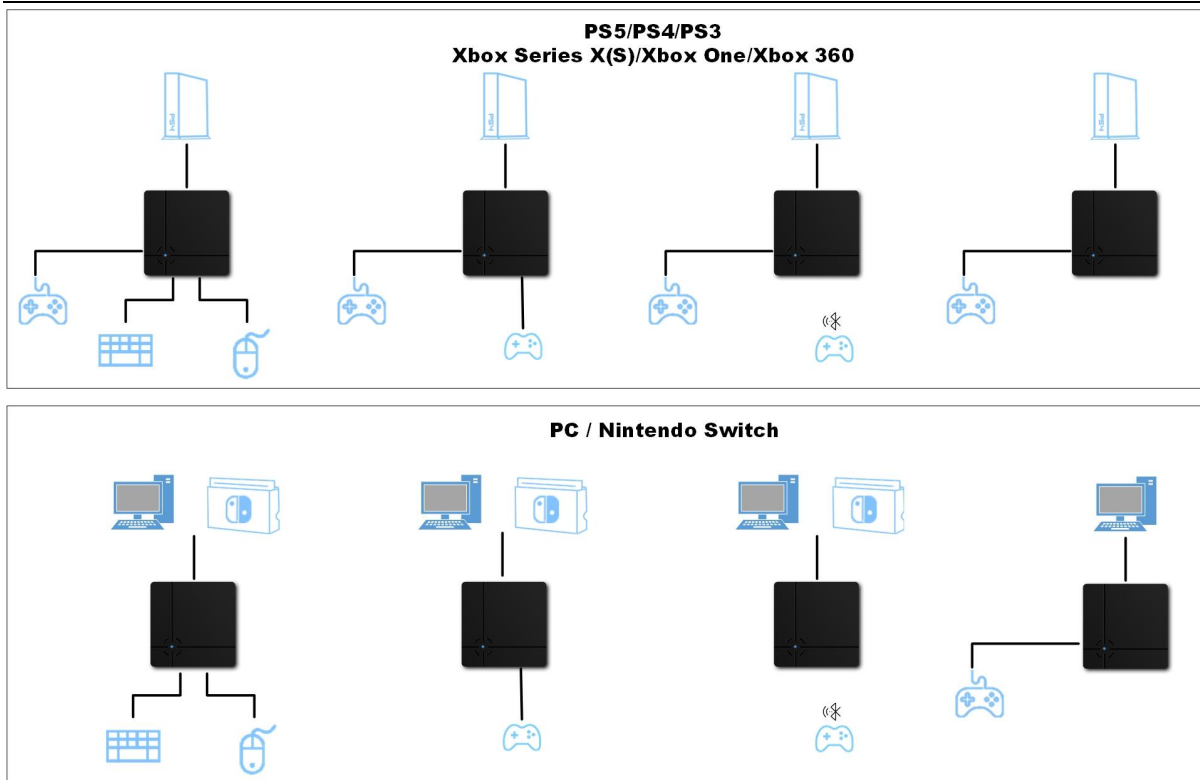
2.4 配線

まず全ての周辺機器を ReaSNow S1 に接続し、次に ReaSNow S1 をゲームコンソールに接続します。

PlayStation および Xbox の場合、コントローラーは必ず USB ポート 1（左側）に接続してください。
Switch の場合はコントローラーが必要無いため、USB ポート 1 は空けておいてください。

キーボード、マウス、またはその他の周辺機器は USB ポート 2 または 3 に接続してください。

LED ランプの赤い点滅は、ReaSNow S1 がアプリとの連携待ちであることを示しています。



2.5
ReaSnow
Manager アプリ
App Store または Google
Play、もしくは
当社ウェブサイト

(www.reasnow.com/start-here) よりダウンロードしていただけます。

アプリを起動する前に Bluetooth および位置情報サービス (GPS) を有効にしてください。

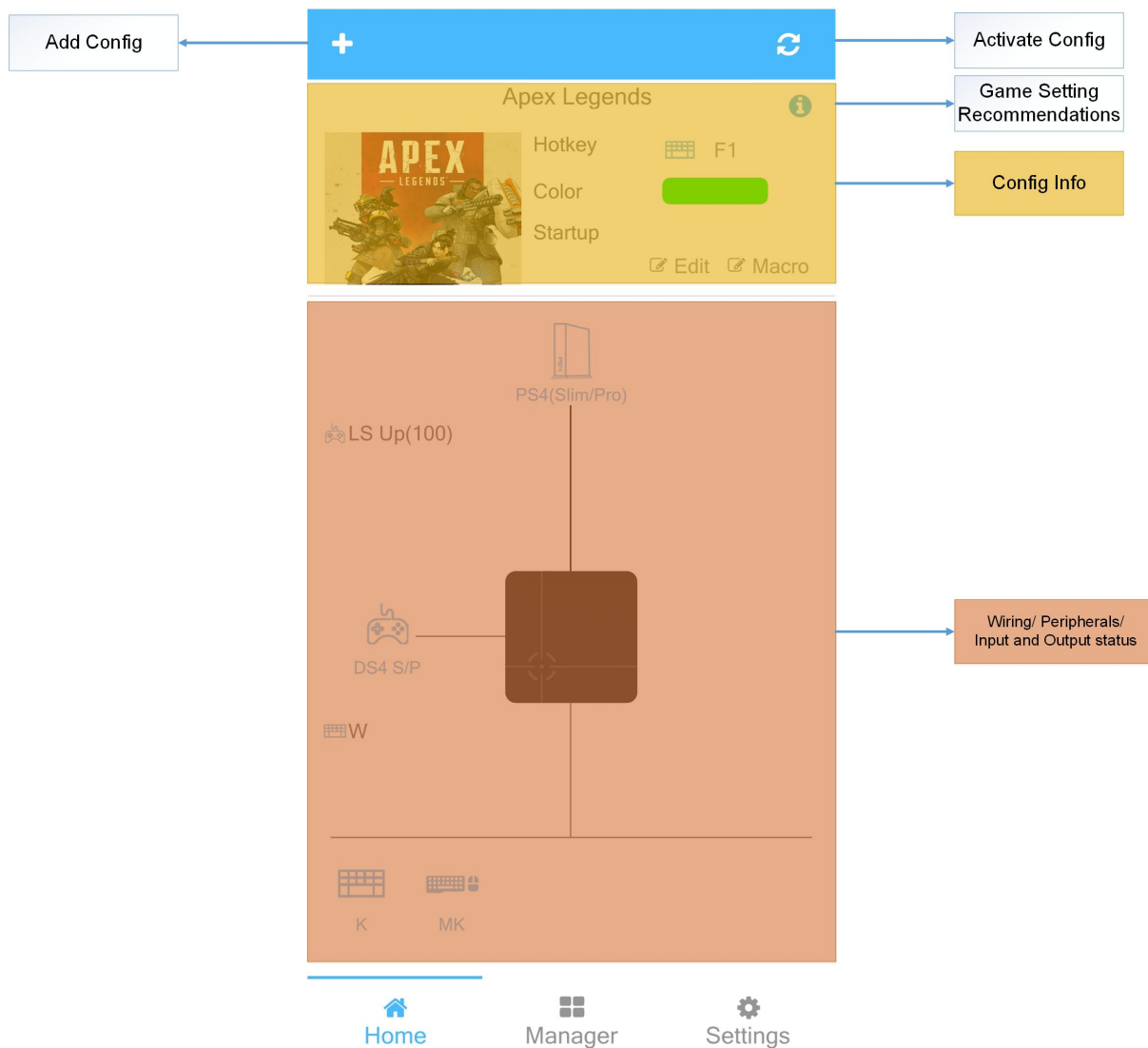
最初はプリセットのゲームプロフィールが追加されます。

これで準備完了です！

ReaSnow S1 を使いこなせるよう、これ以降の各章もしっかりお読みください。

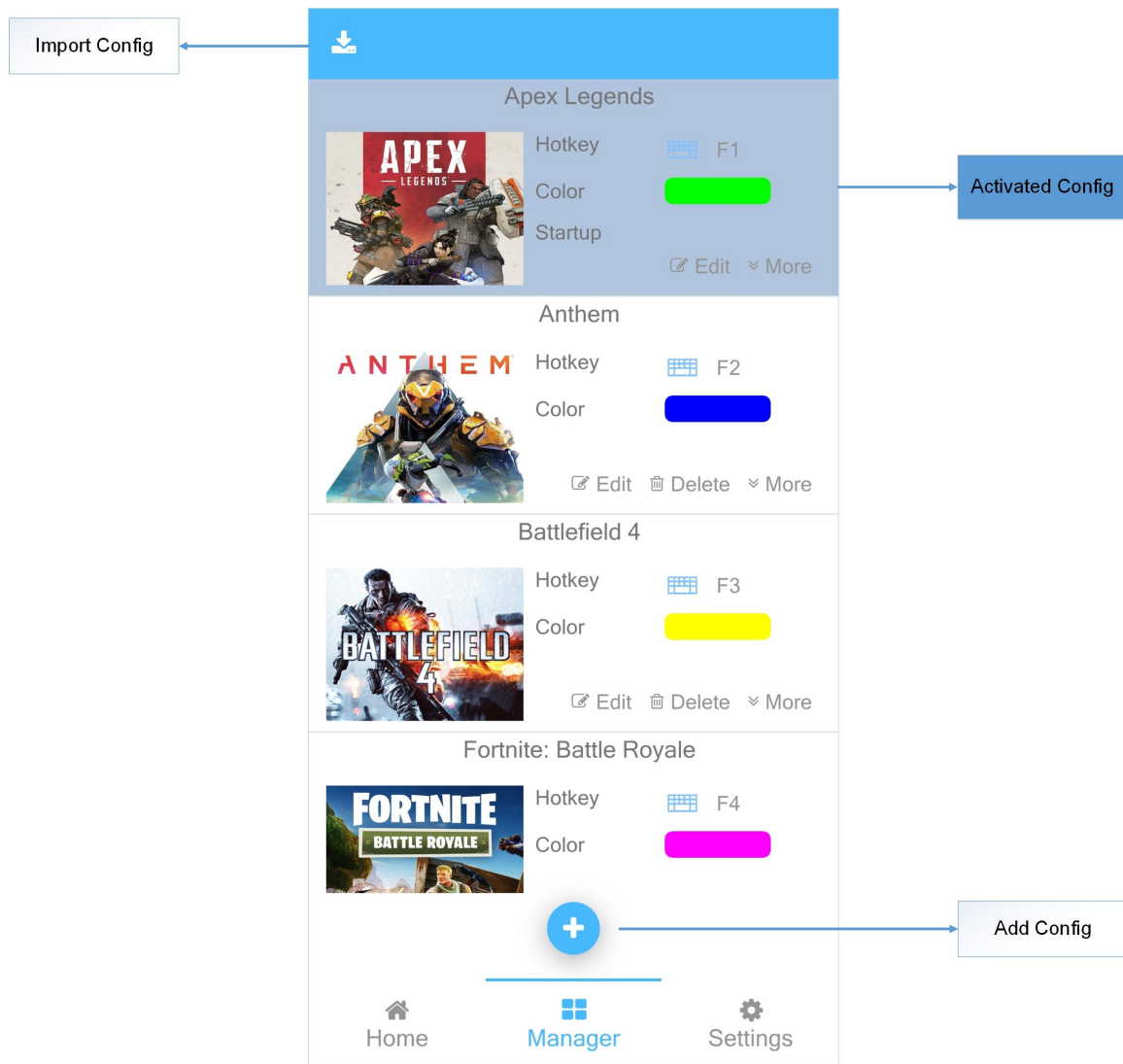
第3章：ReaSnow Manager アプリ

3.1 ホーム



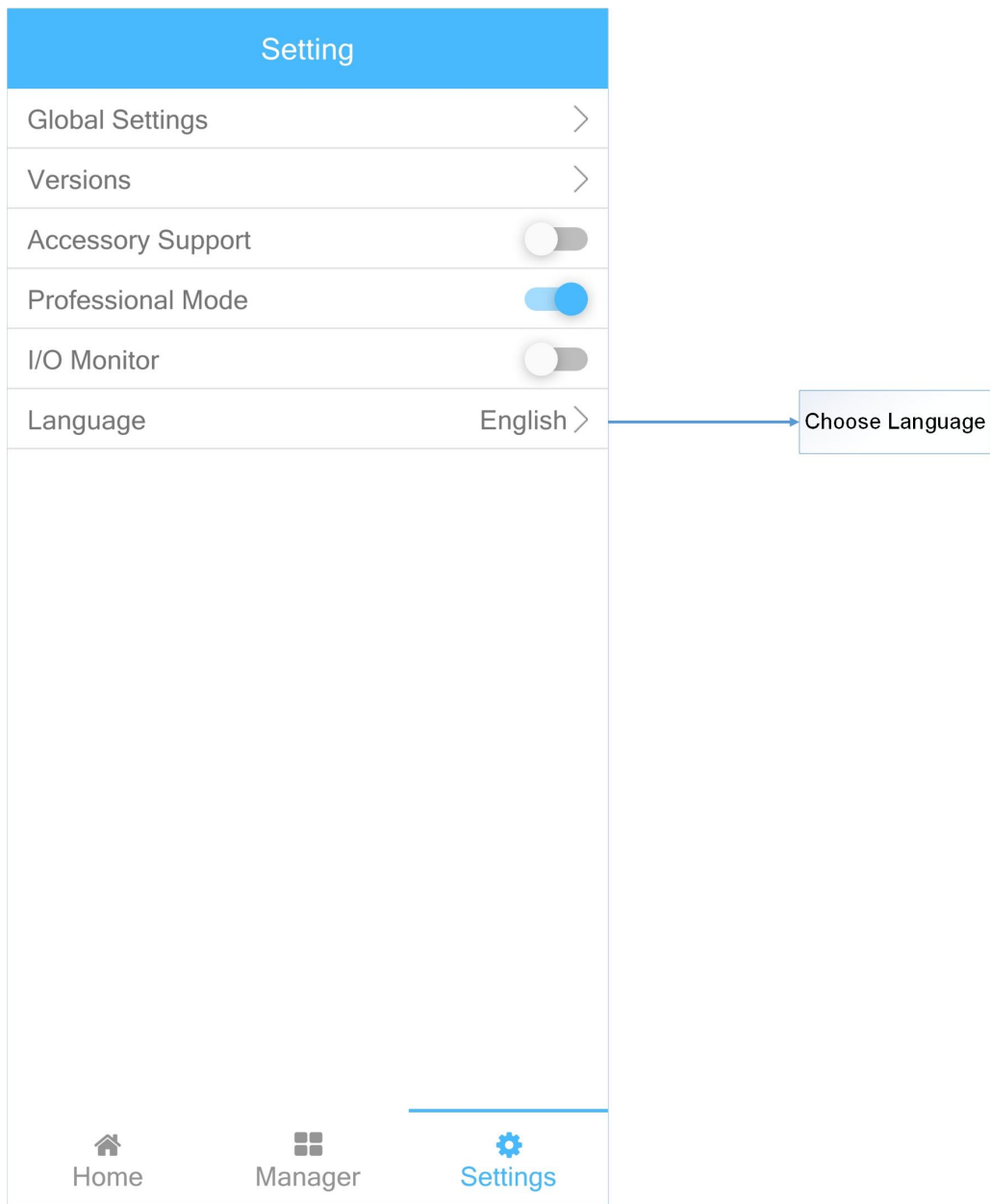
- 推奨ゲーム設定は重要です。間違いの無いようご参照ください。
- 入力・出力のステータスは、「設定」で「I/O モニター」が有効になっている場合のみ表示されます。

3.2 マネージャー



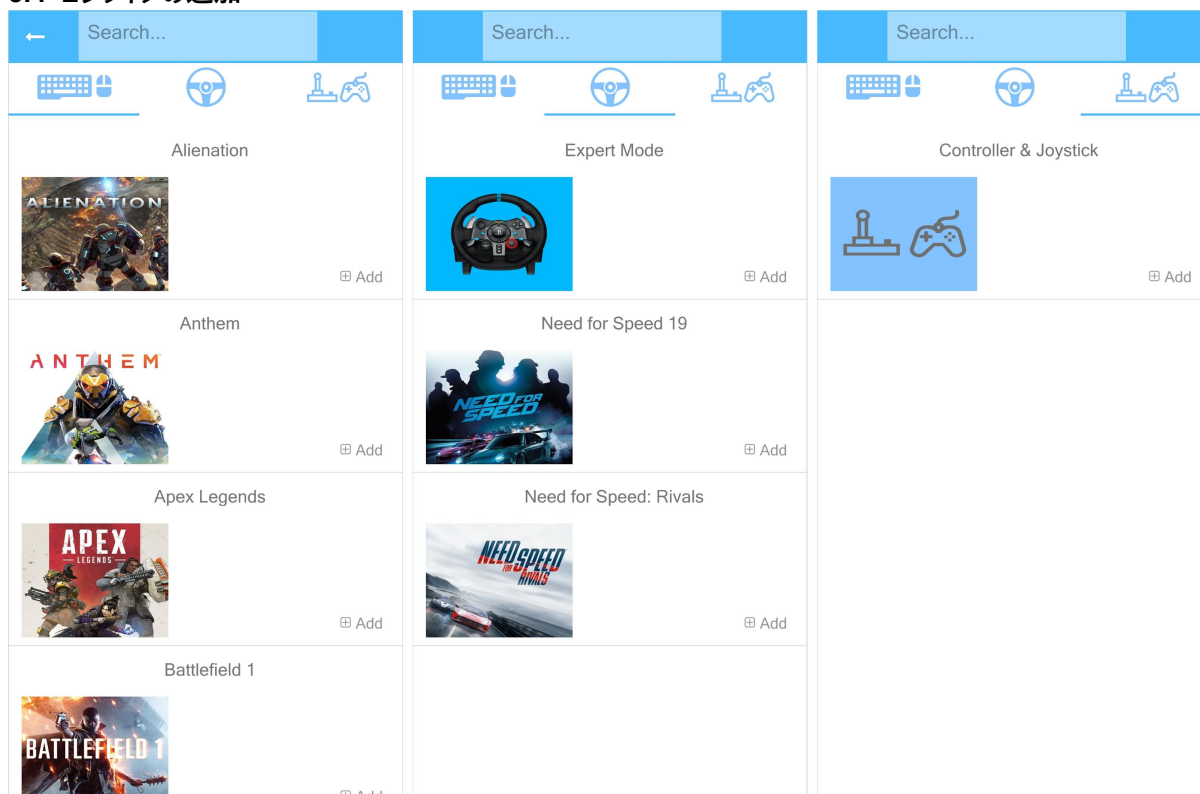
- コンフィグを追加、削除、編集、エクスポート、またはインポートできます。
- 「スタートアップ」として設定されているコンフィグは、電源を入れる度に自動的に起動します。

3.3 設定



- アクセサリーサポート：フライトスティックの独立型スロットル、またはハンドルコントローラーの独立型ハンドブレーキ用に設計されています。
- プロフェッショナルモード：これを有効にすると全ての設定項目にアクセスできます。無効にするといくつかの設定項目が非表示になり、シンプルになります。
- I/Oモニター：入力・出力のステータスは、「設定」で「I/Oモニター」が有効になっている場合のみ表示されます。アプリの動作効率を良くするため、この機能はアプリが再起動されると自動的に無効になります。

3.4 コンフィグの追加



マウスおよびキーボードで操作するゲーム（FPS）はこのコラムに分類されます。

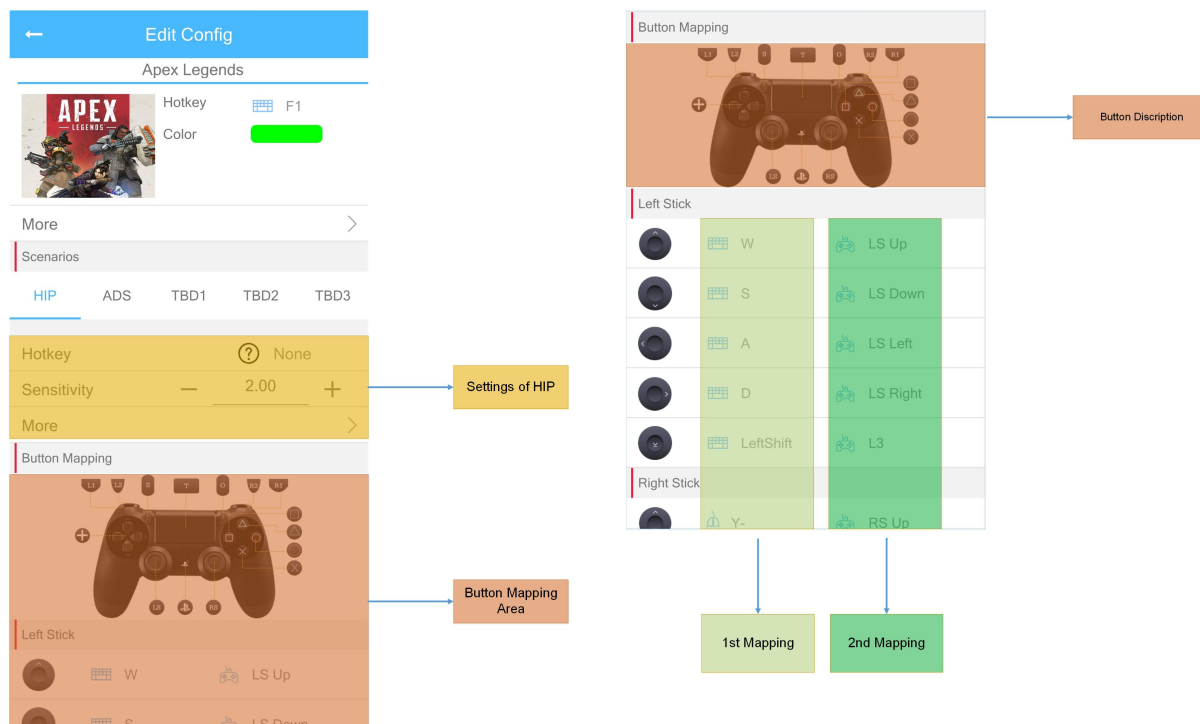


ハンドルコントローラーで操作するゲーム（レース）はこのコラムに分類されます。



コントローラー、ゲームパッド、フライトスティック、アーケードスティック等で操作するゲームはこのコラムに分類されます。

3.5 コンフィグの編集



● シナリオ (HIP/ADS/TBD1/TBD2/TBD3)

シナリオはいわゆる“サブコンフィグ”です。1つのコンフィグ内に5つのシナリオがあります。

HIP および **ADS** はキャラクター用、**TBD1~3** は戦車や飛行機等の乗り物用もしくはインベントリおよびマップコントロール用です。

各シナリオにはそれぞれ設定項目があり、ホットキーでシナリオを起動するとそのシナリオの設定内容が有効になります。

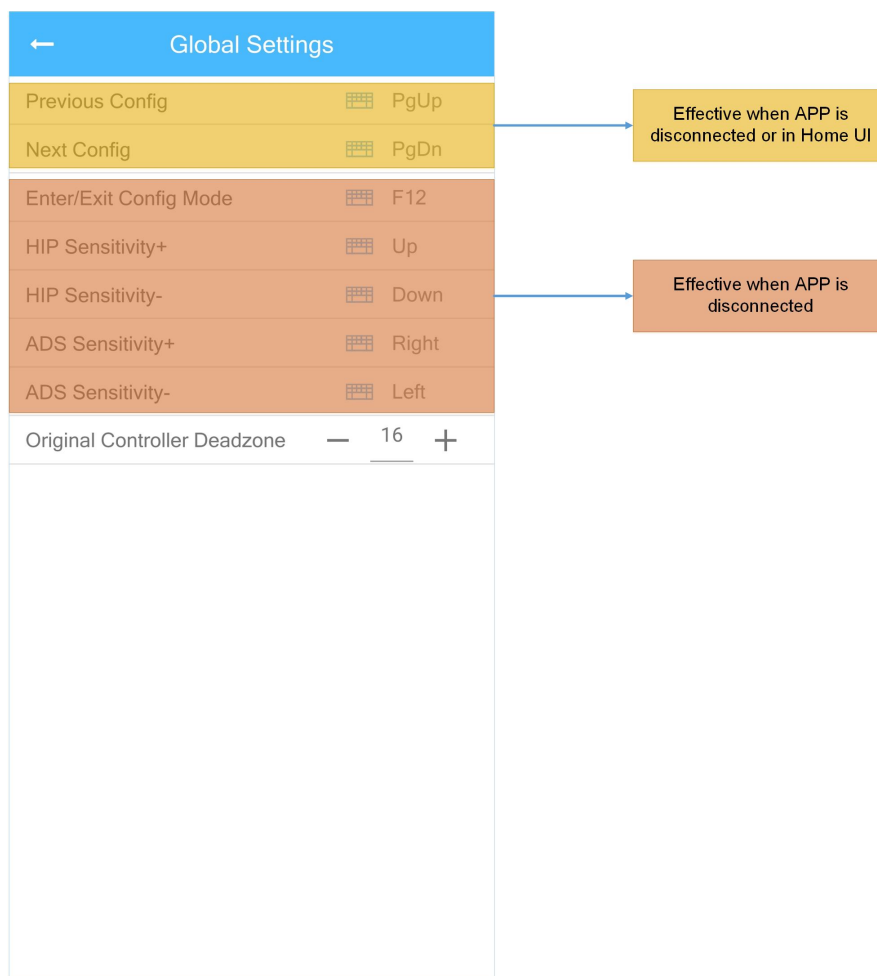
デフォルトでは **HIP** とその設定内容が有効になります。

● マッピング 1 および 2

これら2種類マッピングは同時に有効になります。つまり、コントローラーのボタン1つに対し、周辺機器のキーを2つ割り当てることができます。

また、マッピング 1 および 2 はシナリオごとに設定できます。

3.6 グローバル設定



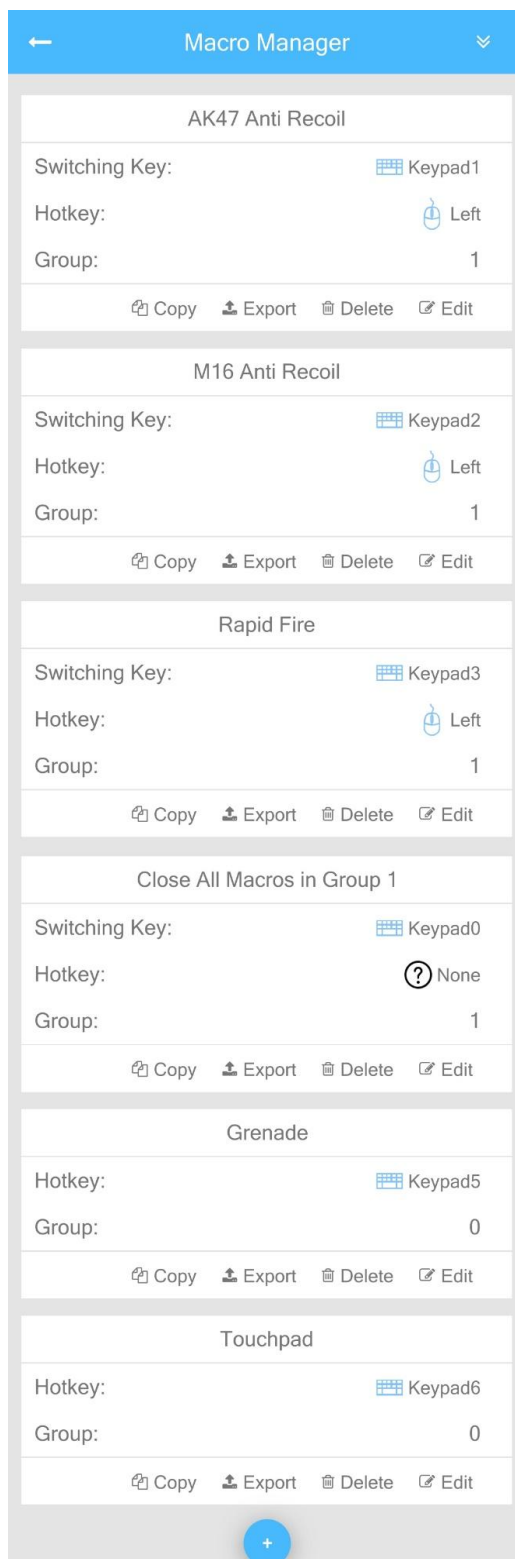
● コンフィグモード

デフォルトでは、アプリが接続されていない状態または閉じている状態で F12 を押すとコンフィグモードを開いたり閉じたりできます。コンフィグモード中は LED ランプが消え、HIP/ADS 感度は対応するキーで変更できます。

第4章：マクロ

4.1 マクロマネージャー

マクロの追加、削除、編集、エクスポート、またはインポートを行います。



4.2 マクロ用語

名称

マクロの機能によって覚えやすい名前をつけるのが一般的である。

切替キー：

切替キーはマクロを有効または無効にするために使用される。

マクロがアクティブ状態になると、アクティブキーによってアクティブ化される。

ホットキー：

マクロを実行する際に使うキーです。例えば、マウスの左ボタンは連発マクロや圧銃マクロを活性化するのによく使われる。

タイプ

2種類のマクロ、汎用、プレスガン(照準)がある。

圧銃(照準):圧銃マクロを作成する場合は、必ず圧銃を選択してください。圧銃マクロは照準を合わせた状態でのみ効果がある。

圧銃タイプのマクロを選択するとき、このマクロは自動的に圧銃効果に対して最適化することができ(ありえ)て、マウスはコントロールして比較的便利だ。

汎用タイプ:圧銃マクロ以外のマクロは、汎用を選択すればよい

モード：

ホットキーでのマクロの実行方法です。

「長押し」、「押す」、「放す」、「トグル」の4種類あります。

保持用と反転用が多い。

保持:起動キーを押したまま、マクロが繰り返し実行される。

ロールオーバー:起動キーを押して、マクロはずっと繰り返し実行する。再度起動ボタンを押すとマクロが停止する。

押す:アクティブキーを押すと、マクロがいくつかの回数実行される

解除:アクティベーションキーを解除し、マクロが数回実行する

カウント：

マクロが繰り返して何回実行されるかを示します。このパラメーターはプッシュモードとドロップモードでしか使えない

終了：

マクロの終わり方です。

「即時」と「最終列まで」の2種類あります。このパラメータはホールドモードとロールオーバーモードでのみ

例えばマクロは5行ある。

アクティブキーが終了動作を起こすと、このマクロは3行目までしか実行されない。

「すぐに」を選択すれば、マクロはすぐに終了する。

「最後の行まで実行」を選択した場合、マクロは最後の行まで実行される。

グループ：

グループ0のマクロは常に全て有効です。その他のグループ(1~250)については、その内どれか1つのマクロのみ有効です。

このマクロを実行するには、切替キーでそれを事前に選択しておく必要があります。

グループは、例えば「プレイヤーが複数種類の銃を持っており、それぞれの銃に異なる反動抑制マクロや連射マクロが必要」といった場合に役立ちます。

マウスの左ボタンだけでこれらのマクロを全て実行できます。

これらのマクロは1つのグループ(例:グループ1)内に追加でき、例えば以下のように異なる切替キーを割り当てることができます。

キー 1 : AK47 の反動抑制マクロ

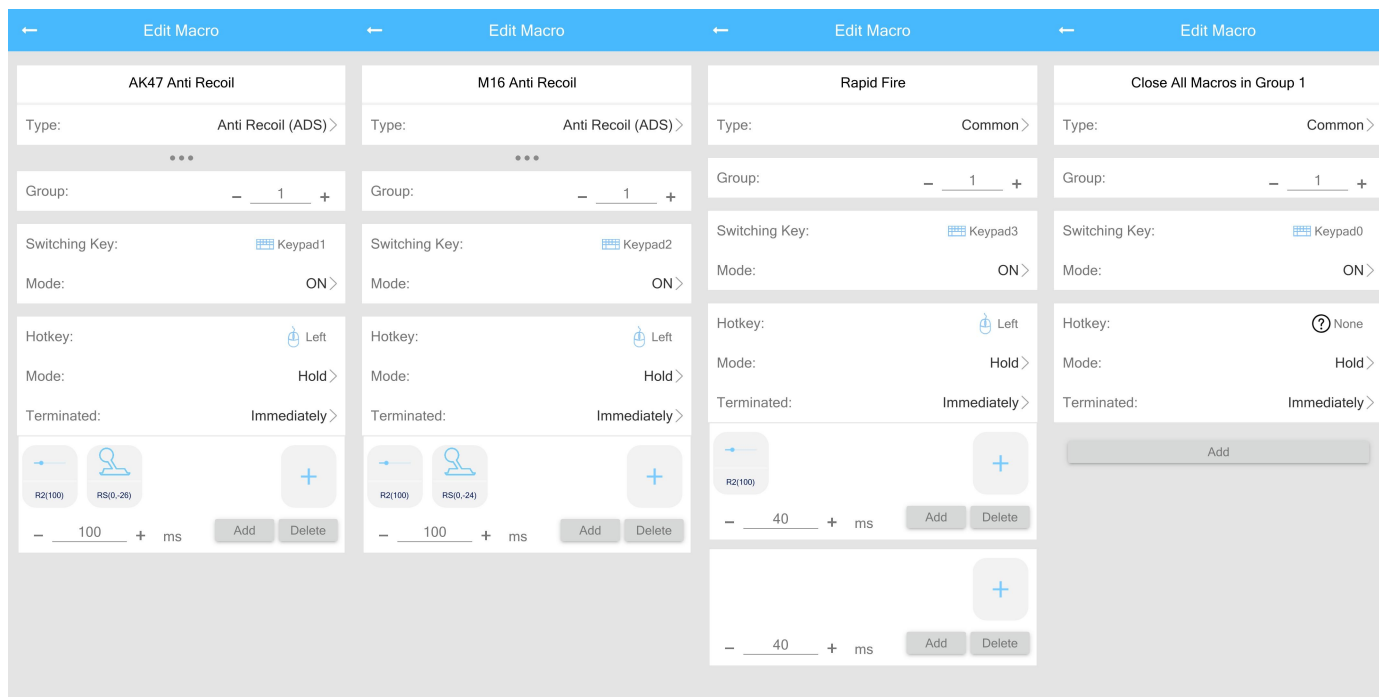
キー 2 : M416 の反動抑制マクロ

キー 3 連射マクロを有効にして

キー 0 は空のマクロである(切替キーはあるが、改造されたすべてのマクロを無効にするアクティブキーはない)。

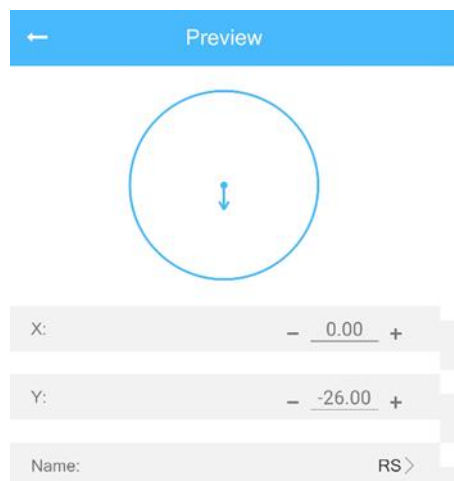
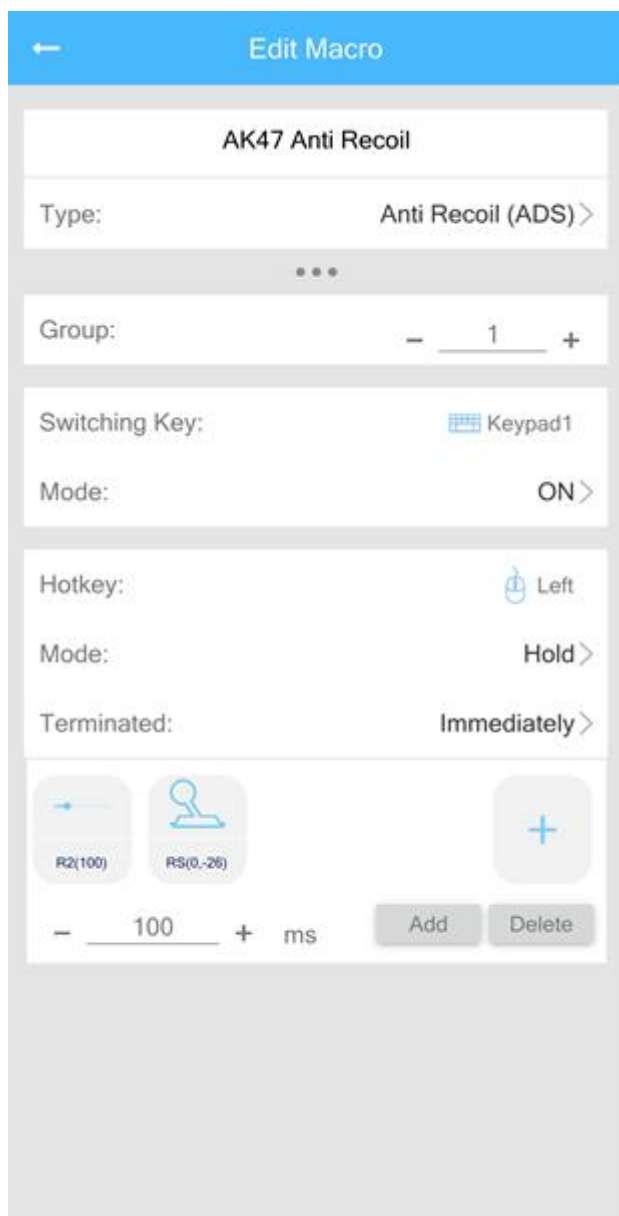
武器を持ち替える際、キー 1~3 のどれかを押すことで状況に応じたマクロを実行できます。

キー 4 を押せばこれら 3 つのマクロを全て無効にできます。このとき、マウスの左ボタンは通常の状態に戻り、マクロの機能はない。



4.3 マクロの例：

圧銃



このマクロの機能は、グループ 1 の中にあり、キー keypad1 を押すと、このマクロは有効になる。

マウスを左クリックすると、銃を押さえる効果がある。

キー keypad1 をもう一度押すと、このマクロは無効になる。

1 行目 1 つ目の要素

R2(100)はレバー R2 ボタンが押されたことを示す。力は 100%である。

1 行目 2 つ目の要素

RS(0, -26)は、右スイングが下に移動する力を示す。下に移動する力は-26 だ。つまり、銃を押さえる力だ。

銃器によって、あるいは銃器のパーツによって、あるいはゲーム内の感度設定によって、この圧銃の力加減は自分で実際の状況に応じて調整する必要がある。圧力が足りなければ圧力の度合いを高める。押しすぎたら、押す力を小さくする。

この 2 つの要素は 100 ミリ秒で同時に実行され、左ボタンを押し続けると繰り返し実行される。

Anti Recoil(ADS) マクロは、**ADS** シナリオが有効になっている場合にのみトリガーできます。
使用している構成で **ADS** シナリオを有効にするための適切なホットキーがあることを確認してください。
None またはその他の不適切なボタンのままにしないでください。

コントローラーを使用する場合、このホットキーは、ゲーム内で **ADS** に使用される **LT** または **L2** またはその他のものである必要があります。
マウスを使用する場合、このホットキーはマウスの右キーにする必要があります。



連射

← Edit Macro

Rapid Fire

Type: Common >

Group: - 1 +

Switching Key: Keypad3

Mode: ON >

Hotkey: Left

Mode: Hold >

Terminated: Immediately >

R2(100)

- 40 + ms Add Delete

- 40 + ms Add Delete

← Preview

Strength: - 100 +

Name: R2 >

このマクロの機能は連射である。これはグループ 1 に存在し keypad3 キーを押すと、有効になる。

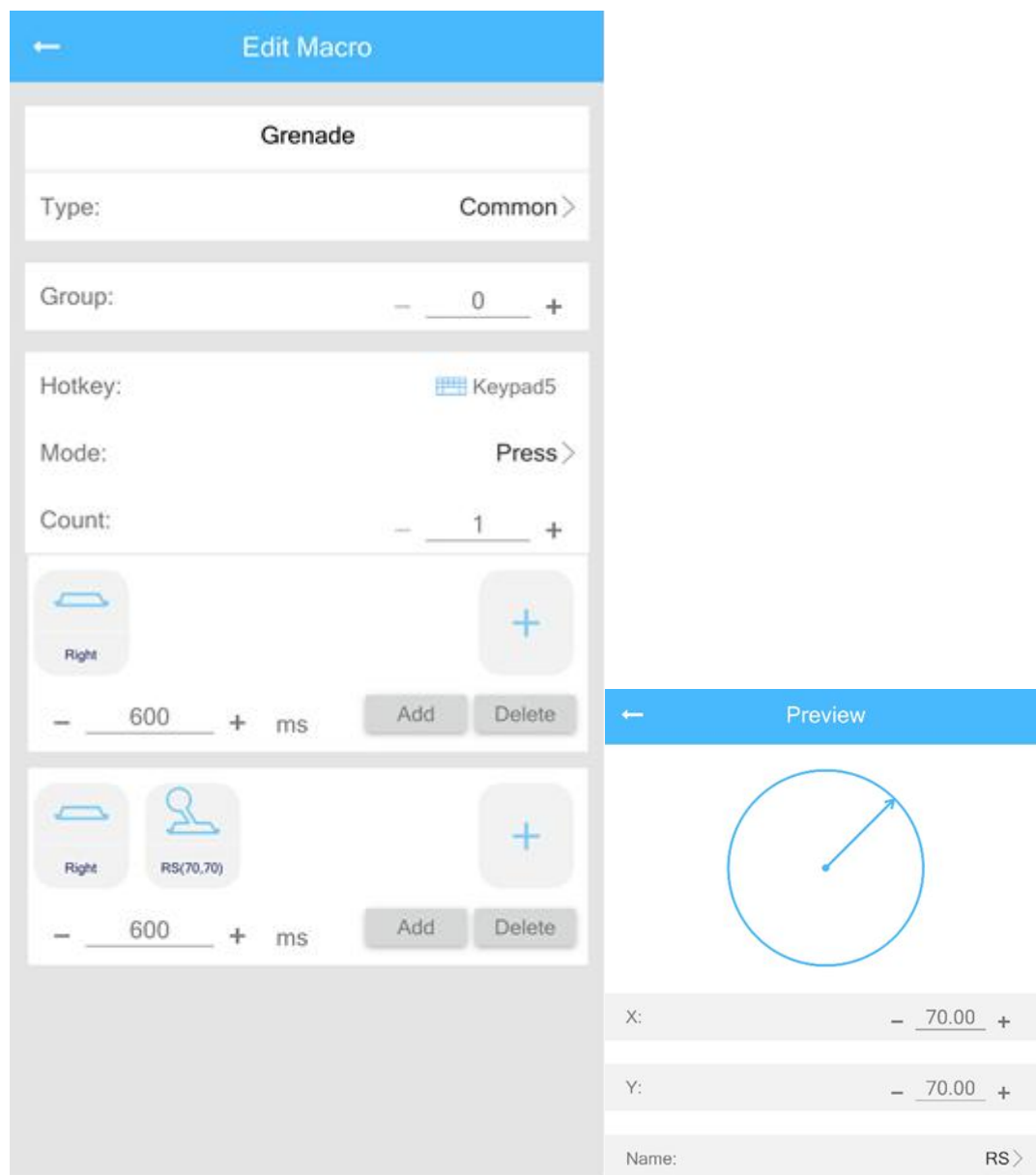
1 列目：40 ミリ秒間、R2（強度 100%）を長押しします。

2 列目：40 ミリ秒間、全てのボタンを放します。

この場合、マウスの左ボタンを押している間はマクロが繰り返し実行されます。

マウスの左ボタンを放すとすぐに終了します。

グレネード



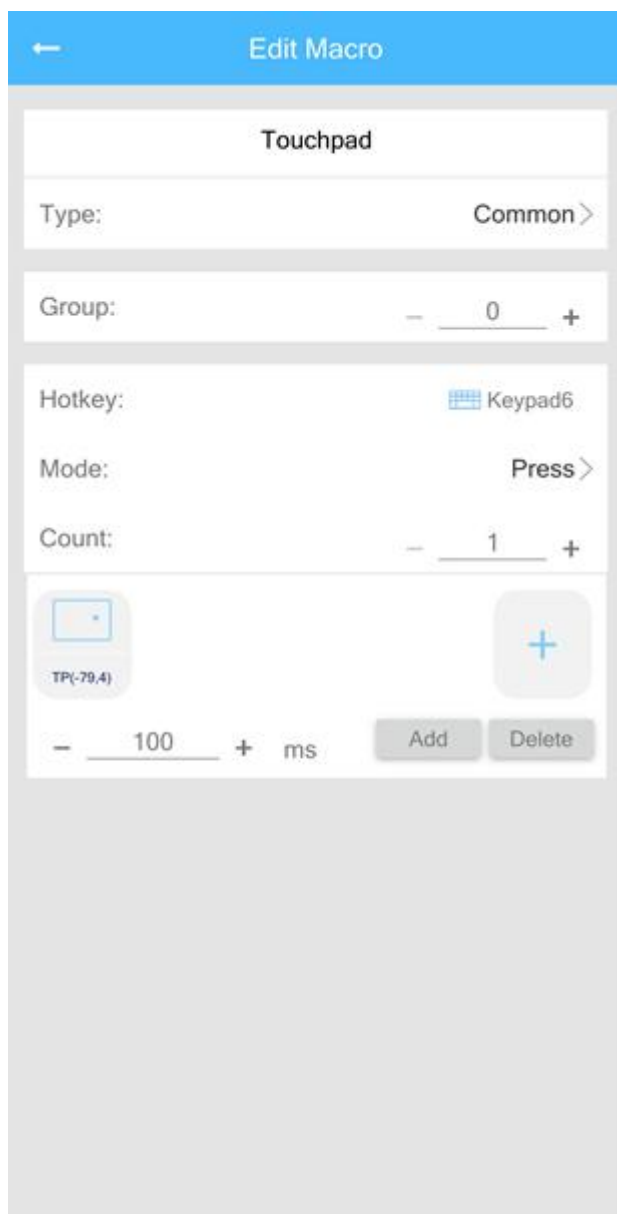
このマクロ（グレネード）は「Apex Legends」でグレネードを選ぶ際の例です。

1 列目：600 ミリ秒間、右ボタンを長押しします。

2 列目：600 ミリ秒間、右ボタンを長押しし、右スティックを倒したままにします。同時に、右スイングが角度に押され、600ms

キー 2 を押すと、このマクロが 1 度だけ実行されます。

タッチパネル



このマクロの役割は、タッチパネルの特定の位置で、タッチパネルを押すことである。

1 行目:タッチパネルの座標をある位置に移動する。ここが(-79,4)である。左側のほぼ中央である。100ms 押し続けてキープする。
このマクロは、アクティブキー(キー Keypad6)を押下すると 1 回実行される。実行が完了すると、タッチパネルが自動的に外れる。

第 5 章：ハンドルコントローラー

5.1 はじめに

特徴：

リアルフォースフィードバック

異なる路面状況や、ランブルストリップス、バンブ等からの振動

クラッチ対応

マニュアルギア対応：H 型シフト（6+1）またはシーケンシャルシフト（+/-）

オートマチックギア対応

RPM／シフト表示 LED 対応

主なキーの機能は全て設定済みで、そのまま使えます（キーはリマッピングできます）

<http://www.reasnow.com>

ハンドル角度の調節可

デレイやラグ無し

対応コントローラー

Logitech G920

Logitech G29

Logitech G27

Logitech G25

Logitech Driving Force GT

Logitech Driving Force Pro

Thrustmaster T300 RS

PS : Logitech G920 は PS4 (エキスパートモード) でのみ使用できます。

対応コンソール :

PS4、XBOX ONE、XBOX 360

エキスパートモードのあるゲーム :

DriveClub、Project Cars、Project Cars 2、Sebastien Loeb Rally Evo、Dirt Rally、Dirt 4、Assetto Corsa、F1 2015、F1 2016、F1 2017、WRC5、WRC6、GT Sport 等。

5.2 使用方法

ステップ 1：配線



まず、オリジナルのコントローラー（USB 1）とハンドルコントローラー（USB 2 または 3）を ReaSnow S1 に接続し、次に ReaSnow S1 をコンソールに接続します。

ステップ 2：コンフィグの追加

アプリを使い、ReaSnow S1 内に「エキスパートモード」等のコンフィグを追加します。

これで準備完了です。

5.3 注記

- エキスパートモードおよびレガシーモード

エキスパートモードでは、ハンドルコントローラーは本物のハンドルとして機能し（G29/G920）、これはコンソール側で認識されます。レガシーモードでは、ハンドルコントローラーはコントローラーとして機能し、コンソール側でもコントローラーとして扱われます。

- PS4 の場合、エキスパートモードは Logitech G29 を入力デバイスとして受け付けることのできる全てのゲームに対応しています。これらのゲームには以下のもの等があります：

DriveClub、Project Cars、Project Cars 2、Sebastien Loeb Rally Evo、Dirt Rally、Dirt 4、Assetto Corsa、F1 2015、F1 2016、F1 2017、WRC5、WRC6、GT Sport 等。

- Xbox One の場合、エキスパートモードは Logitech G920 を入力デバイスとして受け付けることのできる全てのゲームに対応しています。

このエキスパートモードはまだベータ版ですが、リアルフォースフィードバック以外の全ての機能に対応しています。Xbox one のフォースフィードバックはシミュレーションされたものです。

つまり、Xbox One のフォースフィードバックは PS4 ほど良くはないということです。

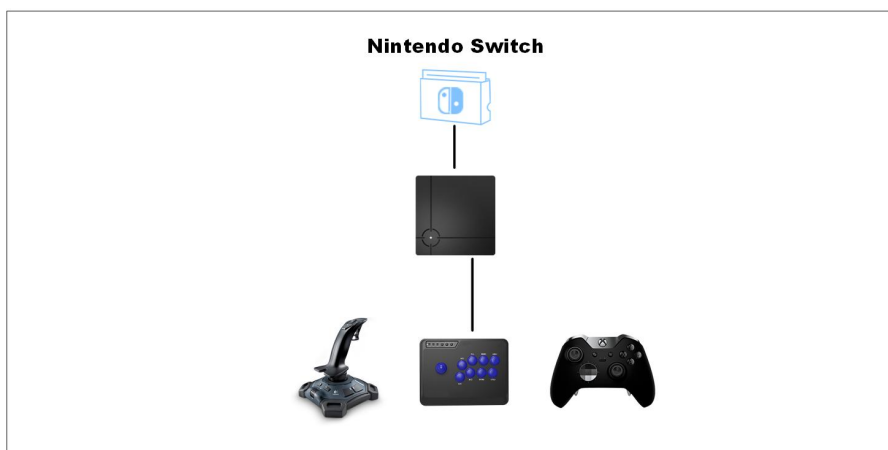
- エキスパートモードのコンフィグではハンドルコントローラーの型を選択する必要はありません。自動的に検出されます。ただし、レガシーモード対応の場合はハンドルコントローラーをコンフィグ内で選択して保存してください。

- プリセットされているその他コンフィグ（NFS19/ NFS: Rivals）はレガシーモード対応です。

- レーシングゲームは、ReaSnow S1 の電源を入れて正しく設定した上で立ち上げてください。
- お持ちのレーシングゲームが CD/DVD からインストールされたものである場合は最新版にアップグレードしてください。旧バージョンはハンドルコントローラーに対応していないことがあります。
- 電源を立ち上げる際、コントローラーの PS/GUIDE ボタンは、ReaSnow S1 の LED ランプがゆっくり点滅していない限りは押さないでください。

第 6 章：フライトスティック、アーケードスティック、およびその他のコントローラー

6.1 配線

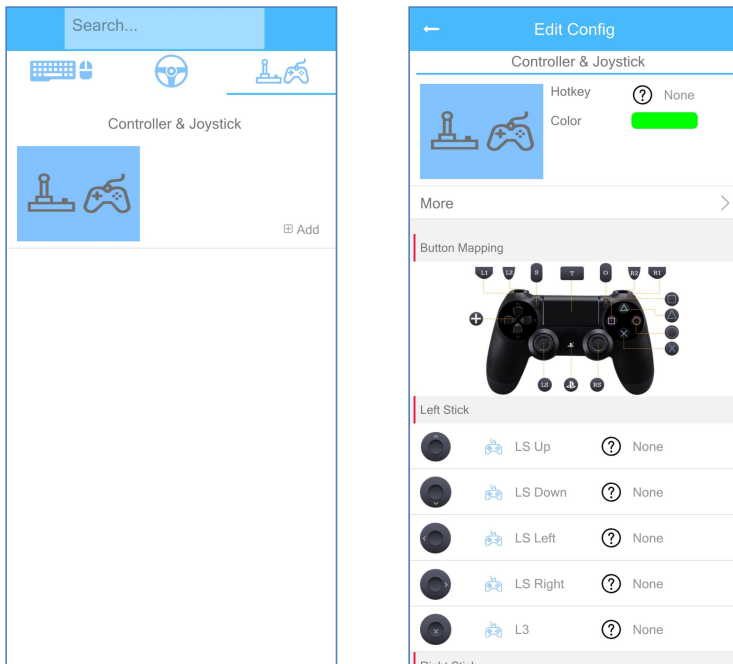


まず上の図にあるように全ての周辺機器を ReaSnow S1 に接続し、次に ReaSnow S1 をコンソールに接続します。

6.2 コンフィグの追加（コントローラー & ジョイスティック）

このプリセットのコンフィグはフライトスティック、アーケードスティック、およびその他のコントローラー（ゲームパッド）用です。 unnecessary設定項目を取り除くことでUIを出来る限りシンプルにしています。

スティックやボタンによってはご自分でのマッピングが必要になることがあります。

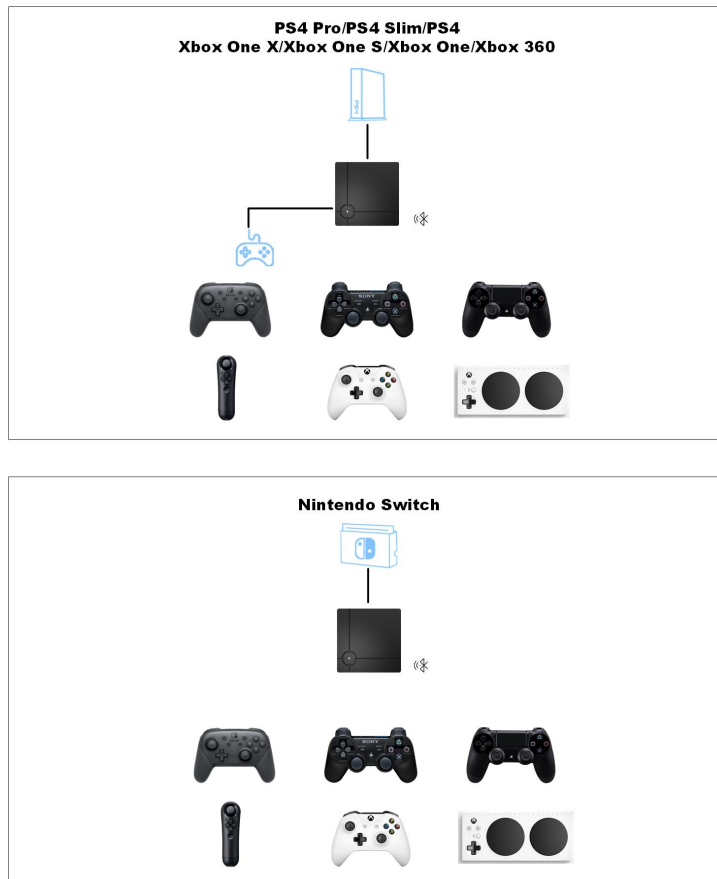


第 7 章 : Bluetooth コントローラー

対応している Bluetooth コントローラー :

DualShock 4、DualShock 3、Sony Move、Xbox One S、Xbox Adaptive Controller、SWITCH Pro コントローラー

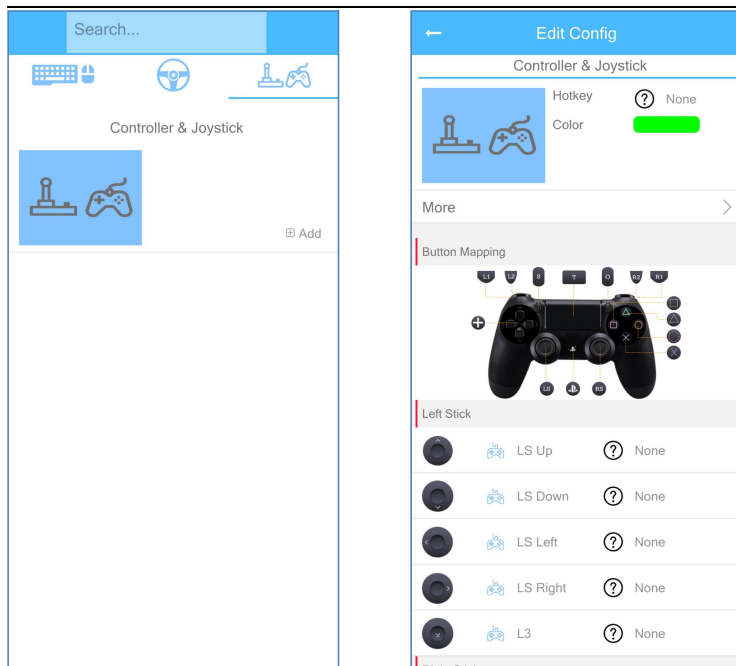
7.1 配線



上の図にあるように ReaSnow S1 をコンソールに接続します。

7.2 コンフィグの追加 (コントローラー&ジョイスティック)

このプリセットのコンフィグはフライトスティック、アーケードスティック、およびその他のコントローラー (ゲームパッド) 用です。 unnecessary設定項目を取り除くことで UI を出来る限りシンプルにしています。



7.3 ペアリング

Bluetooth コントローラーと ReaSnow S1 とのペアリング

DualShock 4、Xbox One S、Xbox Adaptive Controller、または SWITCH Pro コントローラーの場合

ステップ 1：DualShock 4 をペアリングモードにします。
PlayStation ボタンと Share ボタンを同時に長押しします。
ライトバーが点滅し始めるまで押したままにしてください。

ステップ 2：ReaSnow S1 のボタンを押してペアリングを開始します。
ペアリング実行中は ReaSnow S1 の LED ランプが青く点滅します。

LED ランプがゆっくり点滅する状態に戻ったら、コントローラーのペアリングが正しく完了したことを意味します。これでワイヤレスで使用できます。

コントローラーをペアリングモードにする方法：

Bluetooth コントローラー	ボタン	備考
DualShock 4	PS + Share	DS4 はペアリング前に電源を切ってください。
XBox One S	ペアリング	コントローラーのファームウェアを最新版にアップグレードしておいてください。
XBox Adaptive Controller	ペアリング	
SWITCH Pro コントローラー	ペアリング	コントローラーのファームウェアを最新版にアップグレードしておいてください。

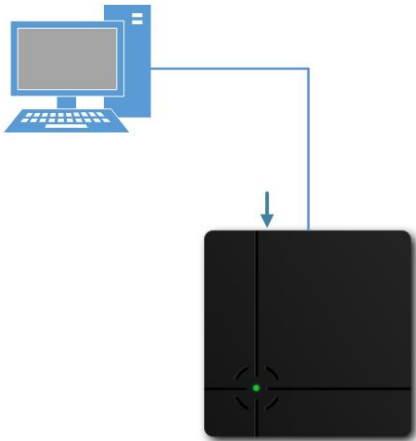
DualShock 3 または Sony Move の場合

ステップ 1：適切な USB ケーブルを使い、コントローラーを ReaSnow S1（USB2 または 3）に接続します。ペアリングが完了するとビーブ音が鳴ります（約 1 秒）。

ステップ 2：USB ケーブルを取り外してください。これでコントローラーをワイヤレスで使用できます。

第 8 章：復元

8.1 工場出荷時設定の復元



ReaSnow S1 の動作がおかしい場合、復元で正常に戻ることがあります。
また、必ず当社ウェブサイトで最新のフラッシュツールを確認するようお願いします。

ステップ 1：

- ボタンを押したまま ReaSnow S1 を PC に接続します。
- LED ランプが緑に点灯するまでボタンを放します。

ステップ 2：

- 次に PC 側で「フラッシュツール」を実行し、「工場出荷時設定の復元」ボタンをクリックします。

多くの問題はこれで解消しますが、同時にデータも全て消えてしまいます。
そのため、復元を行う際は事前にデータのバックアップを行ってください。